



いのちとゆめが
わくわくわくわく
5冊の絵本が
できるまで



しおのよねまつ
塩野米松の
いのちわくわく
おはなし絵本展

2026年7月15日[水]→9月27日[日]

開館時間：9時～17時 ※入場は閉館30分前まで
休館日：毎週月曜日
観覧料：大人(高校生以上)500円、小中学生300円 ※団体割引あり、仙北市民無料
主催：仙北市教育委員会
協力：塩野米松／飯野和好 小沢さかえ はたこうしろう
松本春野 村上康成(敬称略・50音順)
一般社団法人 農山漁村文化協会

新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23 TEL 0187(43)3333

右上から『わく』村上康成絵(2025年)、『ワニくんがやってきた!』飯野和好翻案・絵(2024年)、
『いっぽんのき』松本春野絵(2025年)、『くじらのいるこみち』はたこうしろう絵(2024年)、
『やまのぼの12にんのむすめ』小沢さかえ絵(2025年)、【すべて農山漁村文化協会】



新潮社創業者
佐藤義亮
Giryō Sato
1878-1951

生誕の地
秋田
角館



新潮社記念文学館
Shincho-sha Memorial Museum
of Literature

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通
www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/



JR角館駅・秋田内陸縦貫鉄道角館駅から徒歩10分
駐車場約30台

しおのよねまつ
塩野米松の
いのちわくわく
おはなし絵本展



『くじらのいる
こみち』より

秋田県角館町(現・仙北市)出身の塩野米松氏は、2024年から2025年にかけて〈塩野米松のいのちわくわくおはなし絵本〉シリーズ5冊を手がけました。

この企画展では絵本の原画とともに普段は見ることの出来ないシナリオやラフ画、ゲラ刷りなど多くの資料を紹介いたします。いのちが湧いてくる不思議な物語と絵の力で表現します。絵本が出来上がるまでの過程をお楽しみください。

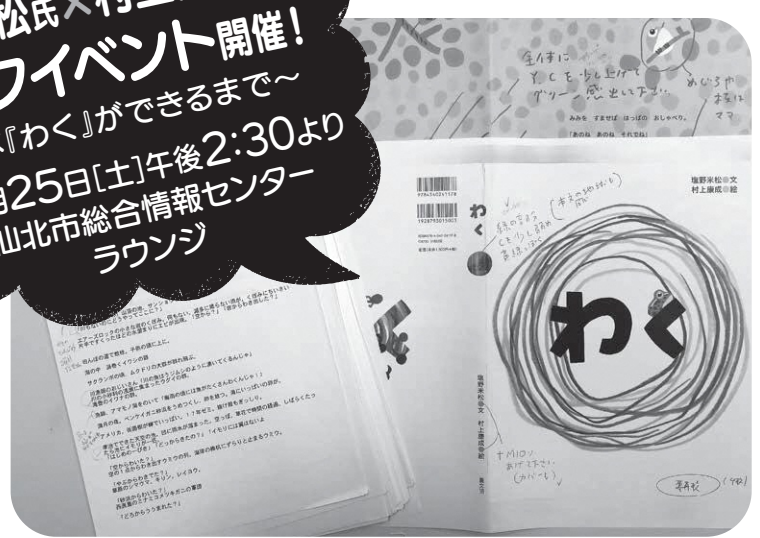


『やまんぼの12にんのむすめ』絵コンテ(部分)



『ワニくんがやってきた!』絵コンテ(部分)

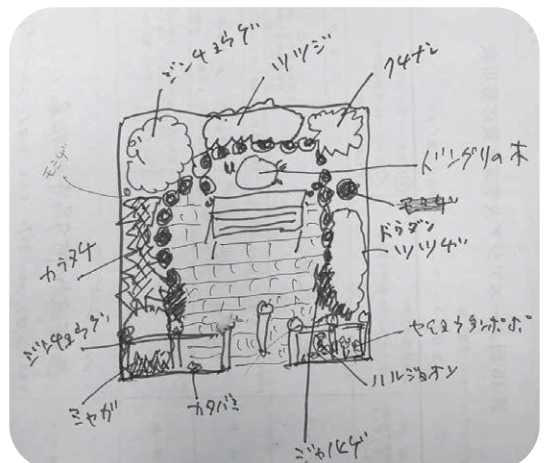
塩野米松氏×村上康成氏
トークイベント開催!
~絵本『わく』ができるまで~
とき 7月25日[土]午後2:30より
ところ 仙北市総合情報センター
ラウンジ



『わく』校正

塩野米松氏プロフィール

1947年秋田県角館町(現・仙北市)生まれ。東京理科大学卒業。作家。小説や職人・漁師などの聞き書きを執筆。「聞き書き甲子園」を創設し、長年講師を務める(第33回みどりの文化賞)。絵本に『なつのいけ』(ひかりのくに、第8回日本絵本賞大賞)、『かぐやのかご』(佼成出版社)、『おじいちゃんの小さかったとき』(福音館書店)など。著書に『木のいのちのこころ』(新潮文庫)、『失われた手仕事の思想』(中公文庫)、『木の教え』(ちくま文庫)、『いなほ保育園の十二月』(岩波書店)、『野外探検大図鑑』(小学館)、『少年時代』(理論社)など。芥川賞候補4回。



『いっぽんのき』公園植生